

# 事務事業評価表

平成14年度	主要事業計画対象の有無	有	電話	042(769)8249
担当部課名	都市部	都市交通計画	課	交通計画
事務事業名	相模原市総合都市交通計画策定調査委託(委託料)		事業コード	33124

1 総合計画における位置づけ

政策名	第3章	利便性の高い公共交通網の確立をめざします	事業開始年度
基本施策名	第1節	利便性の高い公共交通網の確立	10年度
施策名	第2施策	総合交通体系の確立	

2 実施根拠及び関連法令等

--

3 事業概要

(1) 事業の目的		(2) 対象(誰、何)	
相模原市を取り巻く交通環境の変化に対応していくために、本市の交通体系が抱える問題、課題を検討し、将来の交通需要に対応した各交通機関相互の適正な役割を明確にし、今後の交通体系の指針となる総合都市交通計画を策定することを目的とする。		市民	
		対象数	613,719人
(3) 平成13年度事業の内容		(4) 総合計画・実施計画における概要	
・総合都市交通計画策定調査委託 策定委員会・幹事会の開催 10回 (委託費 14,962千円)		多様化する交通ニーズに的確に対応するため、鉄道、バス、自動車など多様な交通手段の適正な役割分担のもと、各々の特性を生かした有機的なネットワーク化に努めるなど、総合的な交通体系の確立をめざします。	
		(5) 個別計画の概要	
		計画名	
計画年次	年度～年度		

4 評価指標

指標名			
指標式			
指標設定の意図			

5 目標と実績

[金額単位：千円]

	平成11年度	平成12年度	平成13年度(評価対象年度)		平成14年度	
	実績	実績	実績	目標	目標	
指標			a	b		
指標			c	d		
指標			e	f		
事業費	決算(予算)額	10,500	14,962	15,000	4,500	
	人員・時間数	3人	4人	4人	2人	
	人件費	25,260	32,960	32,960	16,840	
	その他経費	0	0	0	0	
	合計	0	35,760	47,922	47,960	21,340
特定財源	0	4,998	3,990	5,000	0	

6 個別評価

(1)達成度…目標をどれだけ達成したか			
評価 A ▼	A : 達成している ( 100%)	= 、 、 の平均値 =	
	B : 一部達成していない(100%> 80%)		
	C : 達成していない (80%> )		
$\frac{a}{b} \times 100 =$	$\frac{c}{d} \times 100 =$	$\frac{e}{f} \times 100 =$	
理由 :	調査内容についての成果は十分得られ、目標を達成している。(調査内容は委託契約で定められている)		

(2)必要性…時代変化に適応した事業内容か			
評価 A ▼	A : 適応している	理由 :	従前のマスタープランと違った観点(ソフト施策の導入)を取り入れた計画づくりとした。
	B : 一部適応していない		
	C : 適応していない		

(3)経済性・効率性…費用対効果は妥当か			
評価 A ▼	A : 妥当である	理由 :	高度な専門的知識・技術を要する調査であり、要求する成果は十分得ることができた。
	B : 一部妥当でない		
	C : 妥当でない		

(4)事業の代替性…県、民間との役割分担のあり方から見て、市が実施していくことが適当か			
評価 B ▼	A : 代替の可能性ない	理由 :	広域的な課題抽出だけではなく、地域を特定した重点課題箇所を抽出していくためには本市が実施していくことが適当である。
	B : 代替の可能性低い		
	C : 代替の可能性高い		

(5)市民満足度…対象市民の満足は得られているか			
評価 A ▼	A : 満足できる	理由 :	市民にもわかりやすい計画づくりとした。
	B : 一部満足できない		
	C : 満足できない		

(6)有効性…当該事業は上位の施策を実現する上で有効か			
評価 A ▼	A : 有効である	理由 :	都市計画マスタープランの部門別計画の一つであり有効である。
	B : 一部有効である		
	C : 有効でない		

<p>評価バランスチャート</p>	<p>成果向上の余地</p> <input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない		<p>説明 :</p> 策定にあたっては、幅広い分野での意見を聴取できた。
	<p>コスト改善余地</p> <input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない		<p>説明 :</p> 調査内容により、項目が違うため、費用が変化する。また、設計単価は定められたものを使用しているため。

7 総合評価

評価	AAA ▼	他自治体の類似事業との比較	他市における交通マスタープランと比較し、今回本市が策定した計画は、限りある財源や整備の実現性及び整備効果等を十分に考慮した重点的な計画づくりとした。
今後の進め方		説明	策定した計画を実現していくためには、各部門において整備プログラム策定していく必要がある。
<input checked="" type="checkbox"/>	継続		
<input type="checkbox"/>	見直し		
<input type="checkbox"/>	廃止		
<input type="checkbox"/>	完了		

8 二次評価における変更点

--